

芯を支える枝
枝を支える幹
幹を支える根
根は伸えあんだ
なあめ がつた

或日のつがやき
切り捨てる

わたしは長い歲月

上にのびることはかり考えてきて

土の中深く根を張ることを

忘れていたようです

ヒヨロヒヨロと

幹ばかり高くのびて

雑然と枝葉がひろがるようになった時

幹や枝葉の重みに耐えられない

根の弱さに

わたしは初めて気がついたのです

気がついた時には手おくれでした

手おくれとわかったとき

わたしは思いきって

枝葉をおとすことにしました

土の中のわたしの弱い根と

細い幹を支えられるだけの

わずかな枝を残して

あとは、ばっさり切り捨てました

それは

根の弱い 幹の細い 力のない者が

なんとか自分を守りながら

生きてゆくための

消極的な、しかもそれなりに

勇気のある生活の智慧でした

とはいうものの

枝葉をおとす時 わたしは

やっぱりさびしい気がしました

もったいないなあと思いました

しかし おかげさまで いまでは

眼に見えない土の中で

弱かった根が新たな活動を始めたようです

枝葉を切り捨てた分だけ

いや、それ以上かも――

だれにもわからない根だけが知る

静かな充実感を持ちながら……